

# Green Sketch

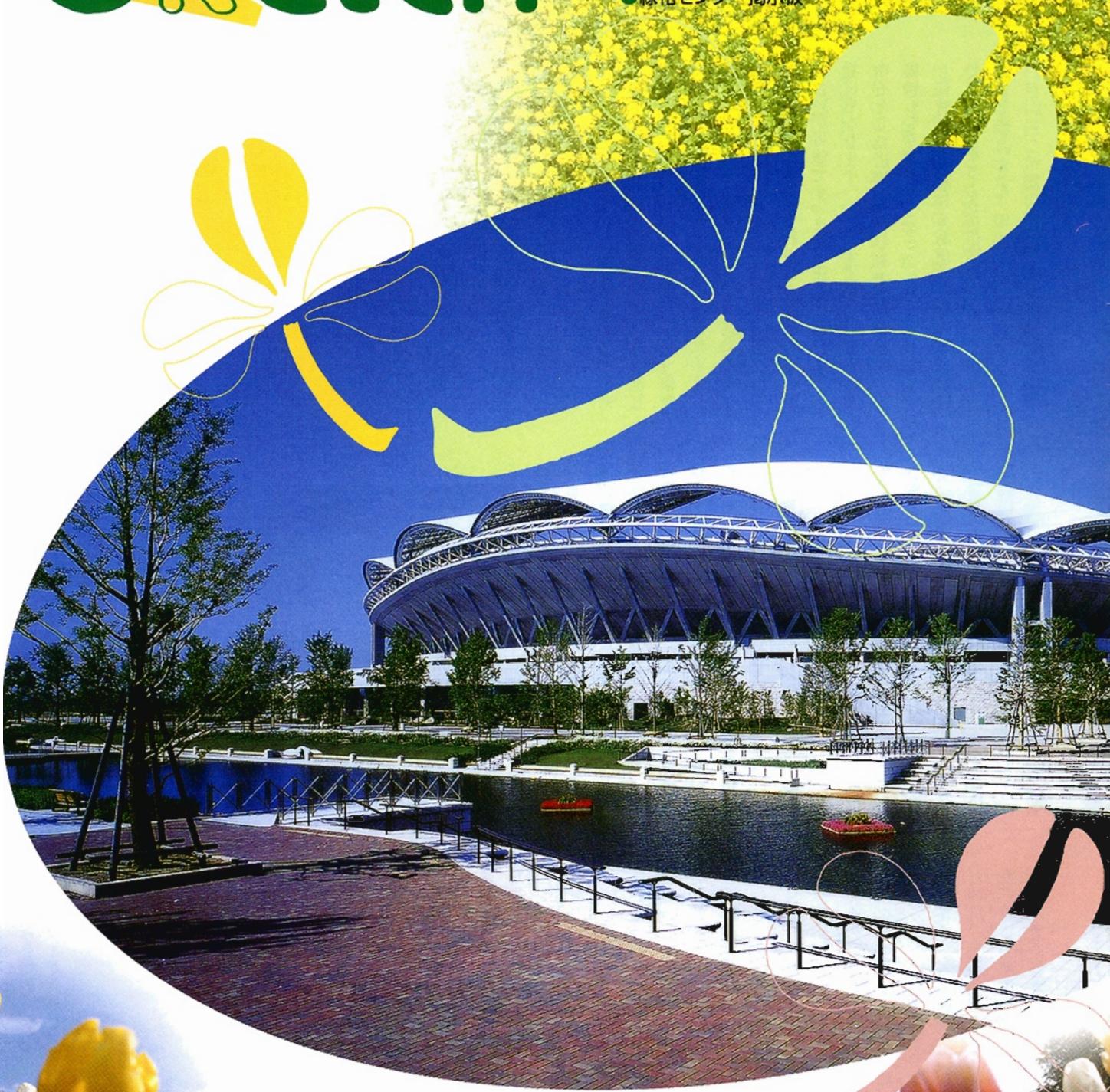
グリーンスケッチ

No.15  
2002 SPRING

## 特集

### 子供たちが森づくりにチャレンジ!!

- にいがた春の散歩道
- 植物に親しむ
- 花と緑のイベント情報
- 緑花センター掲示板
- 読者の広場
- 花と緑のお悩み相談室
- 緑のボランティア団体紹介



# 子供たちが森づくりに

今、学校では総合学習として様々な取組みを始めています。緑花活動もそのうちの一つ。緑花センターが実施している地域の緑花活動への助成制度を活用し、昨年度では県内の12の小・中学校で子供たちが植樹を行いました。



## 「どんぐりの森」「タンポポひろば」

嘉東村立東小学校

子供は、自由で豊かな遊びや体験を通して、生きていくために必要な能力や技能を主体的に身につけていきます。特に子供時代に仲間と共に自然の中で過ごした体験は、生涯にわたって生きる基盤となります。だから学校とPTAが力を合わせて、身近に自然と触れ合う場をつくりたい……そんな願いを共通にしながら、放置され立入禁止となっていた学校の松林を想いの広場にする構想をスタートさせました。

6～7月	森の基盤整備 (土止め、出入口、中央広場)
9月	「どんぐりの森」と命名。 看板作りへ
9月26日	森で音楽朝会
9月26日	森のオープンセレモニー (参観日に)
10月21日	親子植樹(文化祭に)
11月17日	卒業記念植樹 (雨天によりPTAのみ参加)
	「タンポポひろば」完成。 遊具設置



子供たちによる、タンポポひろばでの花苗の植えつけ。

希望の森

私達の学校は魚沼盆地の中心に在り、子供たちは八海山、巻機山、金城山等の名山

として健やかに育っています。「魚沼コシヒカリ」も豊かな自然、冬期間に降り積もる雪、朝夕発生する川霧等、絶妙な自然のバランスの中から産まれています。グラウンド脇の足柄沢川は、子どもたちの格好の楽しい遊び場になっています。しかし土手からグラウンドに続く地には人の背丈以上の雑草が生い茂り、子どもたちの行く手を阻んでいました。山と森と川の豊かな営み

まず、PTAの有志による「学校の森委

実現する「親子アンケート」を実施しました。そして様々な準備を経て、植樹、完成に至りました。

湯東村、緑花センターより助成いただき、一年間に2箇所も自然と触れ合う場を誕生させることができました。深く感謝してい

場にもなります。  
保育園や地域にも活用を呼びかけ、一層楽  
しい広場となるよう住民の協力を得て行きた  
いと考えています。

校長 大橋 正孝

3年 篠川 久志

名付けてくれました

「希望の森」は子どもたちや保護者、職員、地域の人々の願いが一つになり、行政の支援を受けて誕生しました。グラウンド南端、森の端にはゲートボール練習場があり、子どもたちに混じってお年寄りが練習に励んでいます。将来はビオトープのように脇を流れる足柄沢川を整備し、老若男女を問わず憩い合う空間を広げていけたらと思います。また、児童会活動や「総合的な学習」の時間を活用して自然の大切さを感得し合い、豊かな自然を守ろうとする心情を育みたいと思います。

校長 松原 道子

「希望の森」は子どもたちや保護者、職員、地域の人々の願いが一つになり、行政の支援を受けて誕生しました。グラウンド南端、森の端にはゲートボール練習場があり、子どもたちに混じってお年寄りが練習に励んでいます。将来はビオトープのように脇を流れる足柄沢川を整備し、老若男女を問わず憩い合う空間を広げていけたらと思います。また、児童会活動や「総合的な学習」の時間を活用して自然の大切さを感得し合い、豊かな自然を守ろうとする心情を育みたいと思います。

当校は今年度創立40周年を迎えた。それを記念して、グラウンド脇に学校ビオトープ「よつわの森」を造成することになりました。「よつわの森」にかける願いを「豊かな自然の中で思い切り遊び、考え、実践する場になつてほしい」ということです。子ども時代の豊かな自然体験は、豊かな人間性を育てると言われ、環境教育の重要性が今、強く叫ばれています。わたしたちも子どもたちが身近にかかわれる自然の必要性を強く感じていました。

この事業は3年計画で行います。本年度は



11月17日に希望の森の植樹があった。植樹する前は苗木なんて球根くらいの大きさだろうと思った。でも実際は大きかった。4人で持つても重い。土をほって苗木を植え、土をかぶせ、とろまみれになった。何十年後にはやすらげるような、昆虫の集まるような森になつてほしい。 6年3組 上村 臣人



## 柏崎市立田尻小学校 ビオトープ「よつわの森」

なつて取組みました。7月の工事開始から夏休みのPTA作業、10月の親子植樹など地域の人と子どもが力を合わせて作業をしてきました。そして、10月末に「応の完成を見ることができ、オープニングセレモニーを行つて子どもたちに開放されました。

1年次として造成、植樹などを行いました。今後は更に植樹をしたり、下草を植えたりしていく予定です。それと同時に維持管理のための取組みに力を入れていきたいと考えています。地域、保護者、学校の三者で「小さな大自然」を育てていきたいと思います。

今「よつわの森」は子どもたちに大人気です。今までいつも子どもたちの声の飛び交う森であつてほしいと願っています。

教諭 渡邊 興勝

ぼくは夏休みのビオトープ造りのとき、一輪車に土を盛りました。汗びっしょりになつて、友達や大人の人と一緒に命やりました。いじ仕事を作った人やお父さんに「がんばったな」と言われたのでうれしかつたです。山や川や池ができる、これからが楽しみです。(8月)

わたしは下野井川の山で植物を探集しました。植物に詳しい人がいて、いろいろ教えてくれました。一人では根までなかなか取れなかつたので、みんなでザクザク掘りました。これからもみんなと協力してすばらしいビオトープができるようにしたいです。(9月)

6年1組 宮田 直明

5年 中村 瑛裕美

## 総合学習に御利用下さい!

緑花センターで管理している、県立鳥屋野潟公園と併しています。周辺は鳥屋野潟や新津秋葉丘陵などに囲まれ、豊かな自然に触れ合うことが出来ます。施設の内容は次のとおり。是非ご活用下さい。

### 県立鳥屋野潟公園



#### ビジターハウス

面積 80m<sup>2</sup>

設備：作業用流し、折畳みテーブル、テレビ、ビデオデッキ



#### レストハウス

面積 190m<sup>2</sup>

設備：丸テーブル、椅子、ホワイトボード



#### 県立植物園

研修室

面積 230m<sup>2</sup>

設備：ビデオプロジェクター、スライド、資料展示装置、テレビ、ビデオ、MDプレーヤー、可動式拡声装置、マイクロホン

貸出期間 1月4日～12月28日  
貸出時間 午前9:00～午後5:00  
予約受付 随時  
受付時間 午前8:30～午後5:00(12/29～1/3を除く)  
お問合せ先 県立植物園  
〒956-0845 新潟市大字金津186  
TEL025-24-6465 FAX025-24-6410



刈込みによって形をつくるにはイチイやツゲの仲間がよく使われます。また、金網、ビートモスを使って形をつくり、つる植物などを誘引して作る方法もあり、ヘデラやブミラなどが適しています。

## トピアリー樹木

**トピアリーとは**  
樹木を円や丸、動物の形に仕立てたものをトピアリーといいます。ヨーロッパでの歴史は古代ローマ時代までさかのぼるといわれています。17～18世紀には、ヨーロッパを支配した権力者達が、広大な庭に多くのトピアリーを使った美しい庭をつくっています。自然（樹木）をも意のままにできるという権力と富の証でした。現在では一般に普及し家庭のガーデニングでも欠かせないポイントになっています。



## ワイヤーを使ってトピアリーを作ってみよう

### 材料



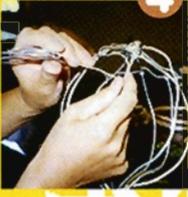
ねじったところから30cm下を20cm位に切った針金でとめます。そして丸くなるように上の部分を広げます。



② 1.5mmの針金をUピンのように曲げ上げのねじった箇所に引っ掛けでぐるぐる巻いていきます。



① 用意するもの：鉢、針金Φ3mm、針金Φ1.5mm、ハサミ、ネット、軍手、用土、花苗



④ ③の1.5mmの針金をUピンのように曲げ上げのねじった箇所に引っ掛けでぐるぐる巻いていきます。



⑤ 鉢の高さにあわせて下の部分を折り曲げます。

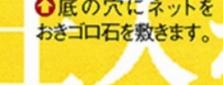


⑥ 底の穴にネットをおきコロ石を敷きます。

### 成形



⑦ 用土を入れ固形肥料を撒きます。



⑧ ヘデラなどつる植物を植え、つくったトピアリーに巻きつけます。



## 植物に親しみ

緑を自分の好きな形に…  
簡単に作れる  
トピアリー